

パート 2

Paragraph 3-4

The Selectboard, faced with citizen and business complaints and the threat of costly damage to town property, took action. They quickly passed an ordinance banning skateboards on all sidewalks in town. The penalty for infractions would be a ticket, much like a traffic violation ticket.

The skateboarders, with the help of a few sympathetic adults, did not stand still for this infringement on their rights to enjoy public amenities. They organized and petitioned to change the law. After all, if the town's concern was the downtown area, why ban skateboarding on all sidewalks in town? Furthermore, if the town wanted to support their interest in this type of recreation, then perhaps construction of a skateboard park would be one way to do it.

【パラグラフ 3】

1) **The Selectboard**, faced with citizen and business 2) **complaints** and the threat of costly damage to town property, 3) **took action**. They quickly passed an ordinance banning skateboards on all sidewalks in town. 4) **The penalty for infractions would be a ticket, much like a traffic violation ticket.**

エダヒロ訳

「なんとかしてくれ！」という住民や企業からの苦情と、町の財産に多額の損害が出てしまうという危機感から、町の行政委員会が行動を起こした。すぐさま、「町のすべての歩道でスケートボードは禁止」という条例を通したのだ。かくして、違反すると、交通違反のように切符を切られることになってしまった。

1) **The Selectboard**

Selectboard の訳語は苦労した～。みなさんはどのくらい調べましたか？ 辞書には載っていない。けど、何となく雰囲気的に「特別委員会／特別審議会／選出委員会」ぐらいでも OK かな～、なんてね。

私は、英和辞書になかったので、英英辞書をあちこち引いたが（オンラインで引けるようになってるので、お気に入りに入れておくと便利）、やはり見つからなかった。しかし、google で検索すると、英語ページには大量に出てくるのである。これだけあるということは、きちんとした位置づけのある組織であるはず。としたら、いい加減な訳語を作って当てはめるわけにはいかない。

google で検索したページを見ていたら、「町の組織の一部で、選出された委員からなることが多く、町のいろいろな行政に当たるグループ」であることがわかってきた。うーむ。日本語ではなんていえばいいのかなー。議事録をパラパラ見ていたら（こういう議事録がいっぱい検索で出てくる）、日常的な町の業務にあたっているようなので、「特別」という訳語は当たらないのではないかと、思える。

と！ 発見したのである。ほぼ言い換えていると思われる表現で、board of selectmen と書いてある！

「さては！」と、心躍らせて **selectman** で辞書を引いてみたら、あった！ 「都市行政委員」とある。つまり、自治体の行政に当たるべく選ばれた人たちの会合、ということなのだ。

というわけで「町の行政委員会」という訳語にすることにして、一件落着。これだけで 30 分以上使ってしまった。こういう時間と苦労は、読者には見えないのだけど、実はとても大事であると思う。私の知っている翻訳者の卵さんたちでも、優秀な人は「本当にこれでいいのかな？」と思って立ち止まれるし、何が何でも調べるぞー、という調査力がある。そして調査力はトレーニングで身に付けられる。何よりも「ま、いっか」と安住してしまわないハングリー精神を大事に！

2) complaints and the threat of costly damage to town property, 3) took action.

2) complaints を「突き上げ」と訳した例もあったけど、ちょっと行き過ぎでは？ そこまで言っていない。そうだったかもしれないけど、原文からわからないところまで描いてはダメ。素直に「苦情」でよいのでは？ ただし、ただ「苦情」だけだと、イメージがあまり湧かないので、「何とかしてくれ」という苦情、ぐらいにしておこうかな。前回出てきた、会話体を有効に使う例。

3) took action に「腰を上げた」という訳例があったが、それまでずっと静観していてやっと行動に移った、ということが読み取れるなら、そういうイメージを与える可能性のある（重い腰を上げる、からの発想）この表現でもよいかもしれないが、私はこの委員会がこれまでどういうスタンスだったかはわからないので、中立的に「行動を起こした」にしておきたいと思う。ここでも繰り返しになるけど、「日本語の表現のくふう」に溺れて、原文から離れないように、それだけは肝に銘じてほしい。

4) The penalty for infractions would be a ticket, much like a traffic violation ticket.

「違反者は交通違反よろしく、切符を切られることになった」という訳例があった。「交通違反よろしく」というのはリズムがあってよいね。ただ「違反者」って気になるなあ……。さっきも書いたけど、あまりこういう言い方、しないのでは？ 「違反したら」って言わない？ 漢字が三つ以上つながるとけっこうお堅いイメージになることもあって……。

「違反すると、交通違反のように切符を切られることになってしまった」としておこう。文末を「切られることになった」ではなく、「なってしまった」としたのは、次のパラグラフの冒頭がスケボーたちの立場から書かれているから。もちろん「なった」でもよい。けど、「なってしまった」とスケボーの心境に近づけておくと、次の出だしがスムーズになるような気がする（英語で「～しまった」という言い方はあまりないので、これも適切で有効な場合には使えばよい。ただし、ニュアンスを盛り込むことになるので、適切でない使い方はダメージが大きくなる。要注意）。

【パラグラフ 4】

The skateboarders, with the help of a few sympathetic adults, **1) did not stand still** for this infringement on their rights to enjoy public amenities. They organized and petitioned to change the law. **2) After all, if the town's concern was the downtown area, why ban skateboarding on all sidewalks in town? Furthermore, if the town wanted to support their interest in this type of recreation, then perhaps construction of a skateboard park would be one way to do it.**

エダヒロ訳

スケボー少年たちも黙ってはいなかった。同情してくれる何人かの大人たちの助けを借りて、「それじゃ、ぼくらが公共の施設を使う権利が侵害される」と立ち上がった。団結して条例の修正を求める嘆願活動をおこなったのである。結局のところ、町が気にしているのは商店街のあたりだろ？ なんだって町じゅうの歩道でスケートボードを禁止しなくちゃいけないんだ？ それに、もし町がこういうレクリエーションへの関心を支持しようという気があるんだったら、スケートボード場を作ってくれるというのも一案だと思わないかい、と。

The skateboarders, with the help of a few sympathetic adults, **1) did not stand still** for this infringement on their rights to enjoy public amenities.

did not stand still、いろいろな表現がくふうできるところ。「じっとはしていなかった」「静観していたわけではない」「黙ってみていたわけではない」など。「反撃に出た」「すぐに行動を起こした」という訳例もあったけど、これは「行き過ぎ」。実際はそうだったかもしれないが、そこまでは書いていない。書いてあることだけを訳出すること。そうでないと「翻訳」ではなく、「創作」になってしまうからね。

ここでは、did not stand still で和文を切って二文にして訳したが、もちろん一文で訳してもよい。タダ、その場合に、まどろっこしくない、ポンポンとリズム感のある感じに仕上げるには、二文に分ける以上の力量が必要だろうな。たとえば、「スケボー少年たちは、賛同してくれる大人数人の助けをかりて、これは公共施設を使うことへの権利の侵害だとして、だまっではいませんでした」。間違いではない。でも「で、どうなったの？」と先を読ませるには、もう一工夫必要。

2) After all, if the town's concern was the downtown area, why ban skateboarding on all sidewalks in town? Furthermore, if the town wanted to support their interest in this type of recreation, then perhaps construction of a skateboard park would be one way to do it.

ここは、地の文に会話体が埋め込まれている。若者たちのブツブツいう声が聞こえてくるような感じで。最後の文は、地の文として訳してもよいし、会話の一部にしてもよい。まえにも書いたけど、会話体こそ、情景をイキイキと日本語らしく表せるよいチャンスなので、のっぺりしたやっつけ訳文にせず、効果が出せるよう、がんばってみて（といっても、どこまで若者言葉を使うかなど、独りよがりにならないよう、冷静に自分を引き留め、対象読者のイメージやレベルとすりあわせることを忘れないでね！）



エダヒロ訳

「なんとかしてくれ！」という住民や企業からの苦情と、町の財産に多額の損害が出てしまうという危機感から、町の行政委員会が行動を起こした。すぐさま、「町のすべての歩道でスケートボードは禁止」という条例を通したのだ。かくして、違反すると、交通違反のように切符を切られることになってしまった。

スケボー少年たちも黙ってはいなかった。同情してくれる何人かの大人たちの助けを借りて、「それじゃ、ぼくらが公共の施設を使う権利が侵害される」と立ち上がった。団結して条例の修正を求める嘆願活動をおこなったのである。結局のところ、町が気にしているのは商店街のあたりだろ？ なんだって町じゅうの歩道でスケートボードを禁止しなくちゃいけないんだ？ それに、もし町がこういうレクリエーションへの関心を支持しようという気があるんだったら、スケートボード場を作ってくれるというのも一案だと思わないかい、と。